

ぴーなっつうしん

Vol.11
2019.9



24時間365日対応、スピードと丁寧さを兼ね備えた心臓カテーテル「循環器内科」

知っておきたい 医療の知識

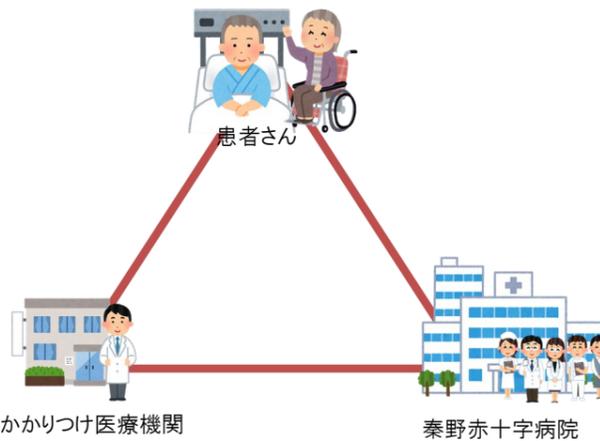
「地域医療連携室」は、地域の医療機関と当院、そして患者さんを結ぶ窓口。地域の医療機関の先生方と連携を図り、患者さんへ良質で安全かつ安心な医療を適切に提供できるよう努めています。

-病院ごとの機能分化

各医療機関は規模や専門分野に応じてそれぞれの役割があります。日本は国民皆保険制度によりすべての人が保険に加入し、どの医療機関でも医療が受けられるようになっています。しかし、どの病院でも診察できるとはいえ、病気になると「大きな病院で診てもらった方が安心」という考えから、軽症の人から重症の人まで、多くの患者さんが大きな病院に集中してしまいます。その結果、「待ち時間が長い」「診療までに疲れてしまった」など、かえって不快な思いをさせてしまう場合があります。こういった状況を回避するためにも、機能分化による病院ごとの役割分担と地域医療連携は需要となります。

-「かかりつけ医」制度の推進

今後の超高齢化社会を見据え、生活支援から医療や介護まで一体化し、国民のより自分らしい暮らし、住み慣れた環境での治療を支える地域包括ケアシステムが厚生労働省から発表されました。その中でかかりつけ医を持つことを推進しています。かかりつけ医とは、日常的な診療、保健指導を行い、地域の身近で気軽に相談できる医師とされています。かかりつけ医を持つことで、病気になったとき真っ先に相談でき、日頃の状態を知ってもらうことで疾患予防や早期発見、早期治療に結びつけることができます。また、必要に応じ、専門の医療機関へ紹介が可能となります。



当院では、急性期病院としての役割を果たすため、かかりつけ医制度を推進し、地域の医療機関との連携を強化し、役割に応じた医療提供を行っています。現在、148の医療機関が当院の登録医として登録されています。各登録医療機関の先生方と

協力し患者さんの病状にあった、継続性のある切れ目のない医療サービスを提供する体制づくりに努めています。

-地域医療連携室の取り組み

地域医療連携室では、医療機関や紹介状をお持ちの患者さんからの予約受付、紹介状・返書管理、医療機関向け広報誌作成、市民公開講座の開催を主な業務としています。

1F正面受付にある“紹介患者さま受付”カウンターでは、医療機関から紹介された患者さんをスムーズにご案内できるよう、医療機関との情報共有などに努めています。また、市民公開講座では、医師や看護師など現場で働くスタッフが講師となり、疾患や予防方法についてなど生活に役立つ情報を発信し、毎回多くの方にご参加いただいています。その他に、かかりつけ医をお持ちでない患者さんのために、お住まいや職場の近くなど患者さんの希望に沿ったかかりつけ医をご紹介します。当院の登録医や近隣の医療機関については、ホームページまたは正面玄関左手の登録医一覧・連携医療機関紹介からご確認ください。



-良質で安全かつ安心な医療を提供するために

当院を受診する際には、かかりつけの医療機関から紹介状（診療情報提供書）をお持ちいただくことを推進しています。紹介状をお持ちにならず、ご来院いただいた初診の患者さんは初診料とは別に選定療養費(3,240円)をいただいております。紹介状をお持ちの場合は、事前にご予約が可能となっておりますので、地域医療連携室までご連絡ください。

患者さんへの安全かつ安心な医療の提供をするため、ご理解とご協力をお願いいたします。

秦野赤十字病院 地域医療連携室

TEL:0463-81-0719(直通)月～金 8:30～17:00

FAX:0463-84-1484



― 死因第2位 心疾患 ―

厚生労働省から発表される「平成30年度人口動態統計」では、悪性新生物に次ぎ、心疾患（高血圧性を除く）が死因の第2位。また、死亡数・死亡率ともに年々増加傾向となっています。ひと口に心疾患と言ってもさまざまな種類があり、検査や治療内容も異なります。生活習慣とも密接かわる疾患であり、みなさんの身近な病気であるという認識が大切です。注）厚生労働省平成30年（2018）人口動態統計月報年計（概数）の概況より

― 秦野赤十字病院の ―

“循環器内科”

秦野赤十字病院の循環器内科では、虚血性心疾患、不整脈、心不全、弁膜症、深部静脈血栓症、末梢動脈疾患など、循環器疾患全般の治療を行っています。カテーテル治療では、急性冠症候群に対する緊急治療から、下肢閉塞性動脈硬化症に対する血管内治療、徐脈性不整脈に対する心臓電気生理学的検査（EPS）及びペースメーカー治療を行っています。緊急症例に対しても365日24時間対応できる体制を構築し、積極的に受け入れています。

01.虚血性心疾患（心筋梗塞・狭心症）

おもに動脈硬化が原因で引き起こされる冠動脈の狭窄や閉塞により、心臓の筋肉への血液の供給が減少したり止まってしまう病気の事です。当院では、薬物療法のほか、カテーテルによる経皮的冠動脈形成術(PCI)を行っています。経皮的冠動脈形成術(PCI)は、腕や鼠径部から2mmほどの細いカテーテルを直接血管に入れ、狭くなった血管をバルーンやステントを使って治療します。

02.末梢動脈疾患

動脈硬化の進行により、足などの動脈の狭窄・閉塞が慢性的な血行障害をきたし、皮膚症状や筋肉の虚血症状を引き起こす病気です。歩行後のお尻や太もも、ふくらはぎの痛みが症状として見られます。進行には、糖尿病などの基礎疾患や食習慣、喫煙習慣などが大きくかかわってきます。PCI同様、末梢動脈疾患にもカテーテルを使用した低侵襲治療(EVT)を行います。

03.頻脈性不整脈

（心房粗動・細動・心室細動・心室頻拍）

脈が正常なリズムより早くなる病気です。脈が速すぎると、心臓は血液を効率的に送れず、あまり速すぎると心臓がカラ打ちし、心臓から全身へ血液を送れない状態になります。動悸や胸痛、息切れ、めまいのほか、ひどい場合には失神やけいれんの自覚症状があり、加齢やストレス、過度の飲酒などにより増悪します。

04.徐脈性不整脈

（洞不全症候群・房室ブロック・徐脈性心房細動）

脈が正常のリズムよりも遅くなる病気です。脈が少ないため、心臓は日常生活や運動に必要な酸素を体中に行き渡らせることができず、めまいや息切れといった症状を引き起こします。症状の改善や突然死の予防として、ペースメーカー植え込み術を行い治療しています。



＝循環器内科とコメディカルによる、心臓カテーテルチーム。＝心臓カテーテル治療中の様子。＝細くなった血管にステントを留置する様子。（イメージ図 画像提供:アボット）



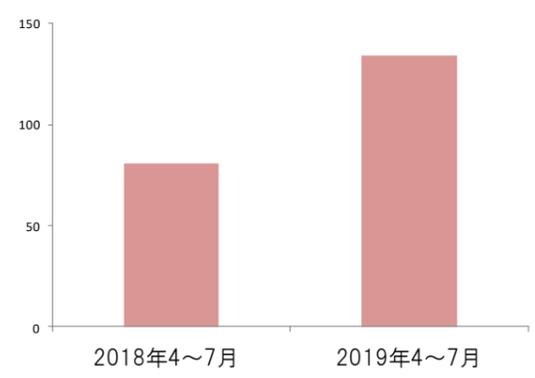
今月号の
秦野
赤十字

第一循環器科部長
さわだ れいみん
澤田 玲民
＜資格＞
日本内科学会総合内科指導医
日本循環器学会専門医
日本心血管インターベンション治療学会専門医

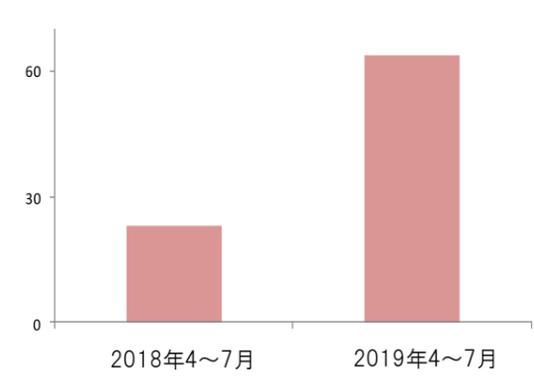
第二循環器科部長
おおやま つよし
大山 剛
＜資格＞
日本内科学会認定内科医
日本内科学会総合内科専門医
日本循環器学会専門医

【実績】

心臓カテーテル検査



PCI治療



― 新たなスタート ―

2019年4月に大山第二循環器科部長が着任、循環器内科常勤医師が3名から4名となり新たなスタートとなりました。この増員により今まで以上に充実した対応が可能となり、今年度は検査・治療ともに昨年度を大きく上回る実施となっています。

また、2018年から新たに心臓CT撮影が可能な機器を導入。今までは心臓カテーテル検査でしか分からなかった冠動脈の走行、狭窄を評価することができるようになりました。心臓CTではカテーテルを使用せず造影剤を注射し冠動脈の評価をすることで、心臓カテーテル検査と比べより低侵襲で、身体への負担が少なく検査ができます。

― 地域医療の担い手として ―

症状や原因は疾患により異なりますが、いつもと違う胸の痛みや圧迫感などの異常があれば、我慢せずにご相談ください。医師だけでなく多職種と協力、また近隣の医療機関なども連携し、患者さん中心のチーム医療を行っています。地域の中核病院として、みなさんにより良い医療を提供できるよう努めてまいります。